

かたの



R3.7. 12
形塾小学校
校長室より

水の魅力を存分に…



7月5日から、水泳学習スタートです。今年は「黙しがえ・ソーシャルディスタンス・一方通行」を新たなルールとして加えました。本校の水泳学習は、「6年生と1・2年生」「3・4・5年生」の3学年が一緒になって学習を進めています。1・2年生にマンツーマンで、6年生がつき、リードします。シャワーの浴び方・水泳帽のかぶり方・最初の水慣れと6年生のサポートで安心して進められました。おかげで、1・2年生どちらも、小学校初のプールでしたが、全員が水に顔をつけたり、もぐったりできました。(ちよっぴり、涙が出ちゃった子もいましたが、涙しながらも、続行していました。お兄さんお姉さんが優しく声をかけてくれるからかな?) ★今朝、交通当番の保護者の方から、こんなお話を聞きました。「娘(6年生)が、『自分が低学年の時も優しく教えてもらったから、今度は恩返し!』って言っていました。『でも、上手に教えることができているか不安だな』とも…」話してくれたとのこと。素敵な恩返しですね。

「密を避けるために&楽しく水に親しめるように」ということで、体育主任青木先生と、杉田さんが相談して、新たなグッズも準備しました。本部のぼろぼろになった簡易ベッドも、養護教諭向井先生の希望で新品にしました。少しだけリニューアルしたプール、安全第一で、水の心地よさを満喫してほしいです。

*「水は苦手」という子は、お家のお風呂(水中)でポピング(ブクブク・パツ)を毎日10回×3セットだ!
(ゴーグルをつけてやるのもOK!) ゴーグルつけると、視界がはっきりして安心できます。



オリンピック検定 合格者14名(先週) 検定への願い



低学年には、かなり難しい問題だったと思いますが、お家で一緒に答えを考えてくれた家族のおかげで、校長室にいっぱいの子がチャレンジにきました。家族と一緒に解いた答えの書かれたプリントは、もうしわしわです。ずっと、手に握って覚えていたんでしょね。検定でも、そのプリントを握りしめて、(覚えにくかったら)カタカナの人名や国名も答えようと、何度も言い直しながら必死です。その姿に思わず、「がんばれ!」と応援しつつ&つついっ大ヒントを出してしまいます…。(きっと今は、答えを覚えるのに必死で、人名だか国名だかなんだかも区別がつかないかもしれません。)6年生の三人は、その辺りは、ばっちりです。自信満々ですらすら答えていました。さすがです!ABCの全てのコースを合格した強者もいます。

多くのチャレンジャーが「心に残る選手3名」の問いに対して、「私は知らないけど、お母さん(お父さん・おばあちゃん・お姉ちゃん)が教えてくれた人だよ」と言いながら答えてくれます。きっと、この選手の名前は一生忘れないことでしょうね。

多くの報道に、2021年の東京オリンピックが子どもたちの中にどんなふうに残るのだろうと、複雑な思いです。今後、4年に一度やってくるオリンピック~そのたびに残念な思い出でなく、わくわくできることを願って…。オリンピック創始者クーベルタンの願いは、「オリンピック(スポーツ)によって世界がつながってほしい。世界平和」です。4年に一度、「家族と語り合ったキラッと光る思い出話」が浮かんで、ほっこり平和な気持ちになってくれたら…という思いです。

今年は、豊作の年?



スモモは、もう実を落とし、木に近寄ると少々においます…。

次は、ブルーベリー。

朝、子どもたちの登校前はこんな感じ(写真)で、色んだものがぼつぼつあります。が、朝、教室を回って行くと、それらは、既に児童机の上に、こんな感じに並んでいます。

